

令和 7 年 2 月 26 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 大坪正幸

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 稲田市政の検証と見附市の未来について

答弁を求める者 市長

令和 3 年 1 2 月 1 2 日、見附市長選挙の投開票が行われた。稲田市長は「暮らし満足 No. 1」のまちを標榜し、5 期 1 9 年の久住市政の継承と見直しを市民に訴えて当選され、稲田市政が誕生し 3 年余りが経過する。また、本年 1 1 月には任期満了に伴う見附市長選挙が予定されている。

2 月 2 1 日の議員協議会において「令和 7 年度当初予算の概要」について担当課から説明があった。「当初予算の総括」(資料 1)によれば一般会計当初予算は 199 億 8,000 万円、前年度比 10 億 7,000 万円、5.7%の増。4 特別会計の合計は 85 億 7,300 万円で前年度比 3 億 6,800 万円、4.5%の増。3 公営企業会計の合計は 85 億 3,550 万円となり、前年度比 8,450 万円、1.0%の増である。

また、「重点施策の概要」では基本方針として「誰もが『暮らし満足 NO. 1』と思えるまちを目指す」とあり、三つのポイントとして「人口減少の抑制に向け、見附に住み、働き、子育てしたくなる環境づくり」「少子高齢化に対応して、誰もが安心して暮らせる社会の実現」「既存施策の見直しなどによる財源確保」が記されている。

新年度予算と主な事業、また 3 月 4 日の議会初日に予定されている稲田市長の令和 7 年度施政方針などを踏まえた上で、稲田市政の検証と見附市の未来に向けた展望を、私たちの会派(みつけ未来の会)を代表して質問させて頂く。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイ



- 1 当初予算の概要に記されている以下の大きな7つの分野について、稲田市政を振り返り過去3年間の主要な政策、施策、事業の検証（成果、評価、課題）を伺う。課題があるならば、令和7年度において課題解決に向けた優先順位と具体的な対策を伺う。

（1）「まちと産業を元気にする」について

（2）「こどもと子育てを支える」について

（3）「健幸づくりを支える」について

（4）「暮らしの安心・安全を確保する」について

（5）「市民の皆様に寄り添う」について

（6）「あらゆる力を結集する」について

（7）「行財政を検証し必要に応じ見直す」について

- 2 令和6年4月に公表された市の「中長期財政計画」によれば、令和12年には家庭の貯金に例えられる財政調整基金の枯渇（約7億円の不足）が見込まれたことから、市民の間に将来的な市の財政に対する大きな不安が広がった。（資料2）

ところが、本年2月21日に策定された「中長期財政見通し」では、令和12年の財政調整基金の残高見込みが26億5千万円と飛躍的に改善されている。（資料3）市が「打ち出の小づち」を手に入れたのかどうかは不明だが、僅か1年で大きく改善されたのはなぜか。

3 稲田市長の1期3年間を振り返り「暮らし満足 No. 1」はどの程度達成できたのかを伺う。

(1)「暮らし満足 No. 1」とは、誰が何を基準に判断するのか。

(2) 達成度を測るための KPI、目標とする具体的な基準や数値は何か。

(3) 目標の達成までに至らなかったものは何か、その理由を伺う。

4 久住市政からの政策、施策、事業で大きく見直したものは何か、見直した理由と成果を伺う。また、今後見直す予定のものは何か、見直す予定の理由と想定される成果を伺う。

5 稲田市長ご自身の振り返りとして、総合的な自己評価は「見附市まちづくり市民アンケート」に倣うなら「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」のいずれか、及びその理由を伺う。

1. 令和7年度当初予算の総括

令和7年度一般会計予算は、199億8,000万円となりました。これは前年度に比べて10億7,000万円、5.7%の増となります。

増額の主な要因は、定額減税及び定額減税補足給付金給付事業が4億5,000万円などの減額があるものの、ふるさと納税の拡大に伴いふるさと応援基金などで3億2,500万円、障がいのある方へのさらなる支援増が見込まれることから、障害者介護給付・訓練等給付事業、障害児給付事業で2億5,200万円、国による地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化対応や市内のICT化推進のため情報管理一般経費で1億9,400万円、GIGAスクール構想の端末更新のため小学教育用コンピュータ設置事業などで1億3,500万円、新型コロナウイルスワクチン及び带状疱疹ワクチンの定期接種化対応等のために感染症予防事業で5,800万円を増額することなどによるものです。

歳入では国の施策による定額減税の縮小などで地方特例交付金が1億6,200万円の減となるものの、障がい者支援、GIGAスクール端末更新や基幹業務システムの標準化などの補助金として国庫支出金が3億1,600万円、障がい者支援などを含む県支出金が8,700万円。ふるさと納税の拡大に伴い寄附金で3億4,800万円、ふるさと応援基金からの繰入金増加等によって繰入金で2億6,600万円、消防本部工作車更新に係る起債などに伴い市債が1億800万円の増額となりました。

なお、予算規模は拡大しましたが、財政調整基金及び減債基金の取崩し額は前年度に比べて1億600万円の減額となりました。

また、4特別会計の合計は85億7,300万円となり、前年度比3億6,800万円、4.5%の増、3公営企業会計の合計は85億3,550万円となり、前年度比8,450万円、1.0%の増となりました。

2. 令和7年度当初予算 重点施策の概要

令和7年度当初予算における重点施策については、以下のとおりです。

《基本方針》

■誰もが「暮らし満足NO.1」と思えるまちを目指す

- 人口減少の抑制に向け、見附に住み、働き、子育てしたくなる環境づくり
- 少子高齢化に対応して、誰もが安心して暮らせる社会の実現
- 既存施策の見直しなどによる財源確保

(1)「まちと産業を元気にする」

若者や子育て世帯などが住める、働ける、稼げるまちと産業をつくる

① 見附への移住・定住と結婚の促進

・移住定住促進の総合的展開

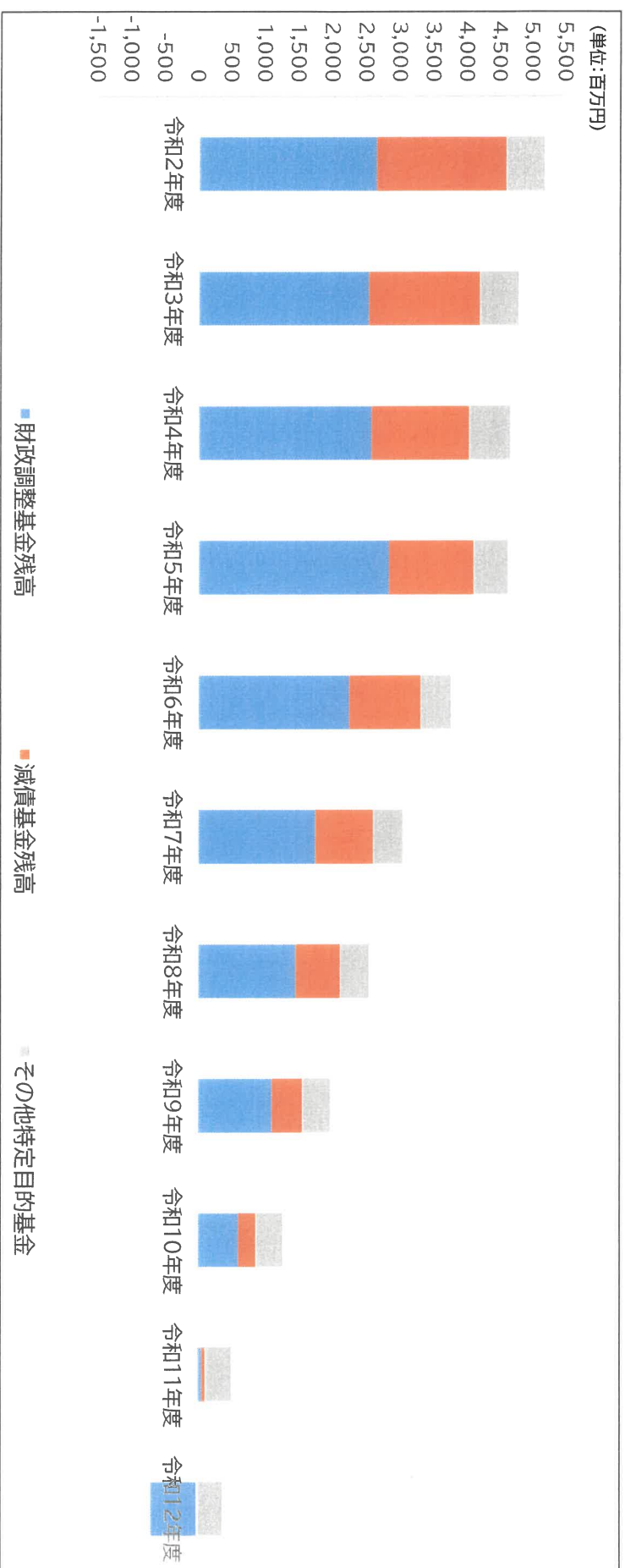
【拡大】移住定住プロモーション業務委託料 7,600千円（新地方創生交付金）

移住の取組みに関する知見と実績がある民間事業者と連携し、令和6年度で策定した移住戦略に基づき、見附の魅力を効果的に発信する。Web広告から市の移住PRサイトに誘導し移住支援策をPRするほか、お試し移住拠点やオーダーメイドツアーなどの現地体験制度をPRする。

【新規】つながり移住支援補助金 1,000千円

市と連携して見附市の魅力を発信し、県外在住の知人の移住につなげた市民および

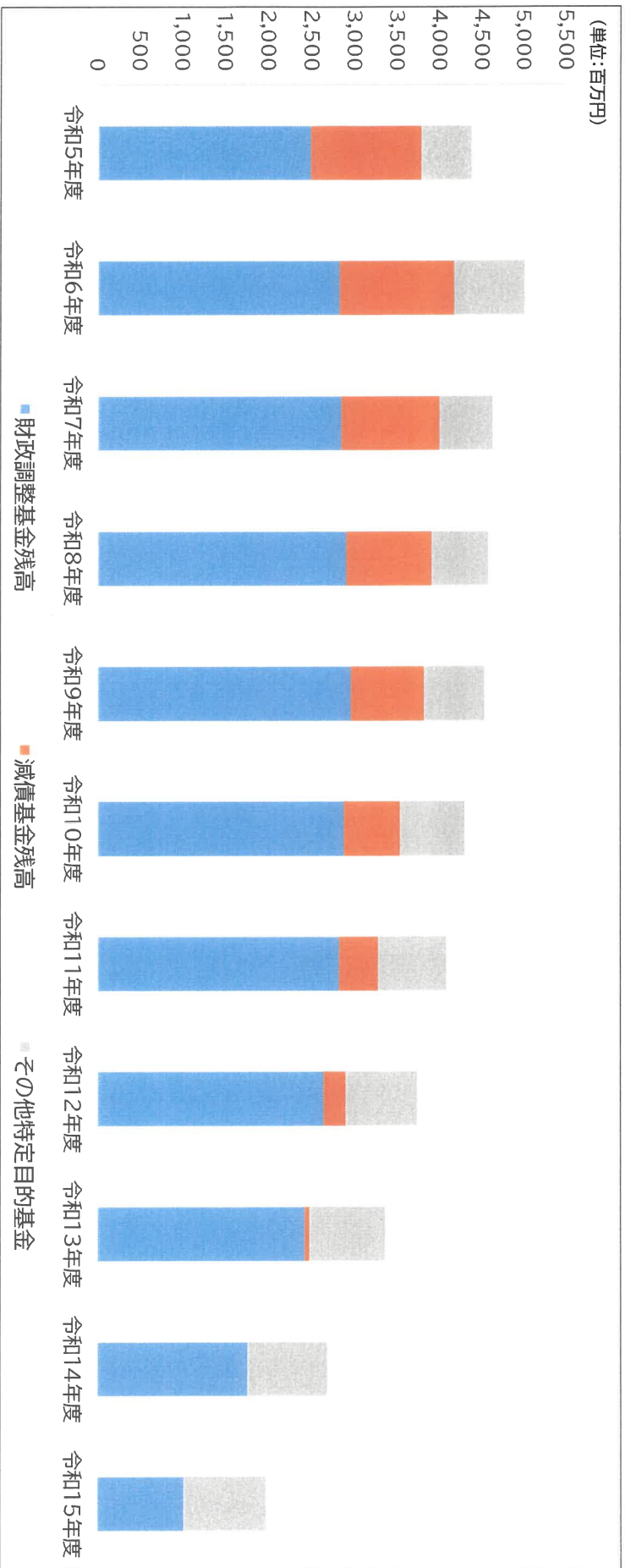
6 基金残高見込みの推移 (令和 6年)



区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	実績額	実績額	実績額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額
財政調整基金残高	2,657	2,545	2,587	2,853	2,262	1,765	1,475	1,118	622	67	▲ 699
減債基金残高	1,946	1,654	1,454	1,254	1,054	854	654	454	254	54	0
その他特定目的基金	588	598	629	529	449	437	425	413	401	388	376
合 計	5,191	4,796	4,670	4,636	3,766	3,056	2,554	1,985	1,277	510	▲ 322

単位:百万円

6 基金残高見込みの推移 (令和7年)



区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
	実績額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額	見込額
財政調整基金残高	2,495	2,828	2,854	2,910	2,966	2,886	2,831	2,652	2,437	1,781	1,034
減債基金残高	1,289	1,348	1,148	1,001	859	659	459	259	59	0	0
その他特定目的基金	592	838	630	672	713	754	795	836	877	918	960
合 計	4,376	5,015	4,633	4,582	4,537	4,299	4,085	3,747	3,373	2,699	1,994

単位:百万円